

# 健康づくりは 幸せづくり

Making Health  
is making happiness



## 第60期

# 中間株主通信

平成25年4月1日～平成25年9月30日

## Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況(連結)	P.3
通期の見通し/研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
株主様ご優待のお知らせ	P.7
財務諸表(連結)	P.8
会社情報	P.9
株式情報	P.10
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A



代表取締役社長

## 伊部 幸 顕



**Z・E・R・I・A Five** コーポレート・スピリッツ/企業理念

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第60期中間(第2四半期連結累計期間)の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

### 売上高



### 通期売上高



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによる諸施策の浸透などにより企業業績は総じて改善傾向にありますが、雇用や個人消費の本格的な回復には今しばらく時間を要する状況にあります。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましては消費低迷により市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は301億9百万円(前年同四半期比16.1%増)となりました。一方、利益につきましては、営業利益40億60百万円(前年同四半期比110.4%増)、経常利益42億23百万円(前年同四半期比109.0%増)、四半期純利益33億36百万円(前年同四半期比50.4%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、13.6%(前連結会計年度12.4%)となりました。

#### 営業利益(■)／経常利益(■)／四半期純利益(■)



#### 1株当たり配当



## 医療用医薬品事業

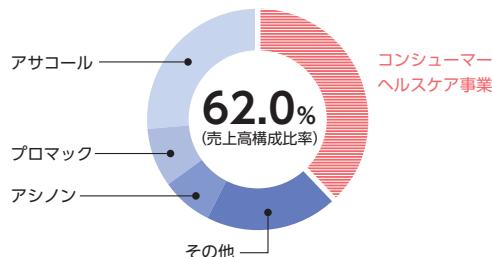
売上高

**186億00**百万円

(前年同四半期比 17.8%増)

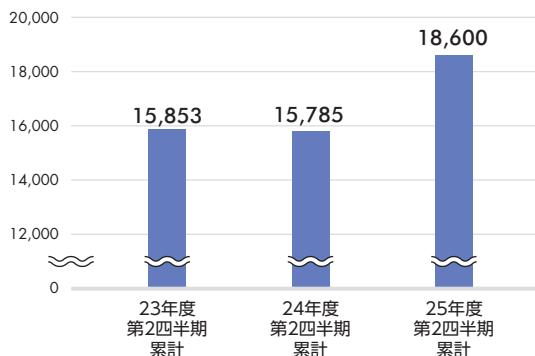
主要製品売上高

アサコール	79.0億円
プロマック	25.3億円
アシノン	23.2億円



医療用医薬品事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、海外におきましては、Tillotts Pharma AG(以下ティロツツ・ファーマ)の自販体制の強化により、引き続き売上を拡大させました。また、国内におきましても経口メサラジン製剤でトップの医薬品とするべく売上拡大を図り、市場シェアを着実に伸長させました。なお、平成25年6月より販売を開始いたしました自社オリジナル新薬である機能性ディスプレイア治療剤「アコファイド®錠 100mg」は、アステラス製薬株式会社との共同販促により早期の市場浸透に努めているところであります。

以上の結果、当事業の売上高は、186億円(前年同四半期比17.8%増)となりました。



# コンシューマーヘルスケア事業

売上高

**114億12**百万円

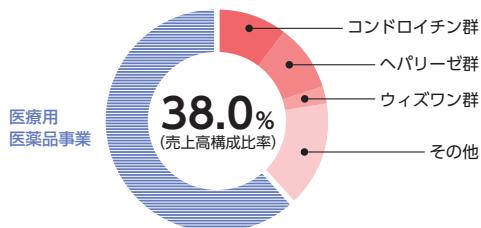
(前年同四半期比 13.6%増)

主要製品売上高

コンドロイチン群 **31.0**億円

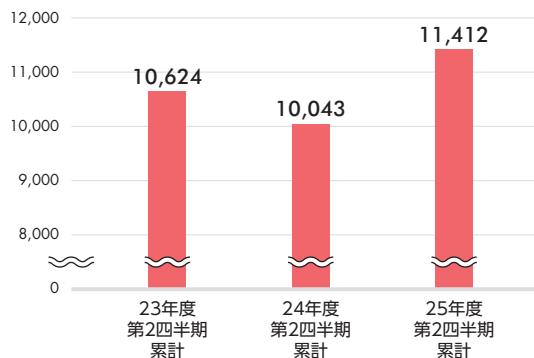
ヘパリーゼ群 **29.7**億円

ウィズワン群 **7.5**億円



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W」が好調に推移しております。なお、同製品のラインアップ強化を目的として、平成25年10月発売予定の「ヘパリーゼ®Wハイパー」の出荷を同年9月より開始いたしました。また、「コンドロイチン群」につきましては、競合品が多数ある中で堅調に推移し、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、114億12百万円(前年同四半期比13.6%増)となりました。



# 通期の見通し / 研究開発の状況

## 通期の見通し



売上高につきましては、第3四半期以降、主力製品である「アサコール®」や「ヘパリーゼ®群」が引き続き順調に推移する見込みであること等から、通期では前期に比べ増収を予想しております。

一方、利益面につきましては、研究開発費、広告宣伝費等、積極的な投資を計画しているものの、通期では当初の予想を超える増益を予想しております。

これらの結果として、売上高605億円(前期比13.5%増)、営業利益64億円(同38.8%増)、経常利益64億円(同36.8%増)、当期純利益47億円(同18.0%増)を見込んでおります。

	第59期	第60期(予想)
売上高	533億17百万円 (前期比 0.3%増)	605億円 (前期比 13.5%増)
営業利益	46億11百万円 (前期比 0.9%増)	64億円 (前期比 38.8%増)
経常利益	46億76百万円 (前期比 5.9%増)	64億円 (前期比 36.8%増)
当期純利益	39億82百万円 (前期比 39.2%増)	47億円 (前期比 18.0%増)

## 研究開発の状況



研究開発部門におきましては、最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、平成25年6月に世界に先がけて国内で販売を開始した、自社オリジナル品で世界初の機能性ディスペプシア治療剤「Z-338(アコファイド®)」の欧州におけるフェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。「Z-100」につきましては、子宮頸癌に対する日本国内におけるフェーズⅢを終了し、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験開始に向けた準備を進めております。「Z-103(プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-206(アサコール®)」は、中国における潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を行いました。「Z-360」につきましては、膀胱癌に対する日本国内におけるフェーズⅠを終了し、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験開始に向けた準備を進めております。

また、平成25年7月にスイス・ビフォーファーマ社から導入した鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、日本国内における開発の準備を進めております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、ティロッツ・ファーマより導入した西洋ハーブ製剤「コルペルミン®」が製造販売承認申請中である他、新製品の開発を進めております。

## ● 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(平成25年11月8日現在)

#### 1) 消化器系分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール®効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ 準備中	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験

#### 2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 準備中	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
臨床準備中	Z-213/ Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

#### 発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
2013年3月4日	Z-521	自社	低リン血症 ホスリボン®	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病医薬品	自社品
2013年6月6日	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア アコファイド®	上部消化管運動改善作用	自社品 共同販促 (アステラス製薬)

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (ティロツツ・ファーマ)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ準備中 (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を\*プラセボと比較しながら調べます。

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、\*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

\*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に、A～E 5つのコースからご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

**A**  
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品  
「アルミ缶入りリドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



**B**  
コース

健康飲料  
「コンドロビー® 濃縮液  
潤甞®(じゅんこう)」2本セット



**C**  
コース

美容・健康商品  
「コンドロマックス®・アポステイー®セット」



**D**  
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液  
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)  
アドソープエッセンス(30g)」  
2本セット



**E**  
コース

上質なうおいを実感する3品目  
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



# 財務諸表(連結)

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	当第2四半期末	前期末
		平成25年9月30日現在	平成25年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産		<b>31,675</b>	<b>30,236</b>
現金及び預金		6,704	7,367
受取手形及び売掛金		14,104	13,625
商品及び製品		3,501	3,030
仕掛品		927	781
原材料及び貯蔵品		2,936	2,730
その他		3,512	2,714
貸倒引当金		△10	△12
固定資産		<b>48,837</b>	<b>48,009</b>
有形固定資産		<b>21,807</b>	<b>21,220</b>
建物(純額)		7,068	6,415
土地		11,573	11,593
その他(純額)		3,165	3,211
無形固定資産		<b>13,239</b>	<b>12,621</b>
投資その他の資産		<b>13,790</b>	<b>14,167</b>
投資有価証券		9,781	10,571
その他		4,058	3,646
貸倒引当金		△49	△50
資産合計		<b>80,513</b>	<b>78,246</b>
<b>[負債の部]</b>			
流動負債		<b>23,595</b>	<b>24,827</b>
支払手形及び買掛金		2,852	3,308
短期借入金		13,996	15,250
その他		6,746	6,269
固定負債		<b>16,020</b>	<b>16,508</b>
長期借入金		15,211	15,665
退職給付引当金		158	152
資産除去債務		73	73
その他		577	616
負債合計		<b>39,616</b>	<b>41,336</b>
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本		<b>38,034</b>	<b>35,285</b>
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,414	5,414
利益剰余金		<b>33,355</b>	<b>30,598</b>
自己株式		△7,329	△7,320
その他の包括利益累計額		2,862	1,440
少数株主持分		-	184
純資産合計		<b>40,896</b>	<b>36,910</b>
負債純資産合計		<b>80,513</b>	<b>78,246</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
		平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
売上高		<b>30,109</b>	<b>25,931</b>
売上原価		<b>8,793</b>	<b>9,099</b>
売上総利益		<b>21,304</b>	<b>16,833</b>
販売費及び一般管理費		<b>17,243</b>	<b>14,902</b>
営業利益		<b>4,060</b>	<b>1,930</b>
営業外収益		<b>304</b>	<b>269</b>
営業外費用		<b>142</b>	<b>178</b>
経常利益		<b>4,223</b>	<b>2,020</b>
特別利益		<b>608</b>	<b>1,193</b>
特別損失		<b>0</b>	<b>28</b>
税金等調整前四半期純利益		<b>4,831</b>	<b>3,185</b>
法人税等		<b>1,497</b>	<b>961</b>
少数株主損益調整前四半期純利益		<b>3,333</b>	<b>2,224</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)		△2	5
四半期純利益		<b>3,336</b>	<b>2,218</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
		平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,988	430
投資活動によるキャッシュ・フロー		△877	△964
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,293	532
現金及び現金同等物に係る換算差額		520	△45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△662	△47
現金及び現金同等物の期首残高		7,235	5,581
現金及び現金同等物の四半期末残高		6,572	5,534

## 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,337名 (連結)
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入</li> <li>2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入</li> </ol>

## 役 員

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
専務取締役	遠 藤 広 和
専務取締役	降 旗 繁 弥
常務取締役	多 胡 充 弘
常務取締役	菅 幹 雄
常務取締役	森 山 茂
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	岸 本 誠
取 締 役	林 恭 弘
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	横 手 秀 和
取 締 役	深 堀 勝 博
常勤監査役	花 田 雅 彦
常勤監査役	高 見 幸 二 郎
監 査 役	小 森 哲 夫
監 査 役	中 由 規 子

## 事 業 所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター
- 出張所 青森・宇都宮・関越・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

## 連結子会社 5社

### Tillotts Pharma AG

- 資 本 金 164万スイスフラン(持株比率100%)  
 事業内容 IBD(炎症性腸疾患)及び  
 IBS(過敏性腸症候群)治療剤の製造・販売

### ゼリアヘルスウエイ株式会社

- 資 本 金 85百万円(持株比率100%)  
 事業内容 健康食品の仕入・販売

### ZPD A/S (旧社名: Biofac Esbjerg A/S)

- 資 本 金 100万デンマーククローネ(持株比率100%)  
 事業内容 医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売

### イオナ インターナショナル株式会社

- 資 本 金 2億円(持株比率100%)  
 事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

### 株式会社ゼービス

- 資 本 金 1億80百万円(持株比率100%)  
 事業内容 保険代理業・不動産業など

## 株式の状況

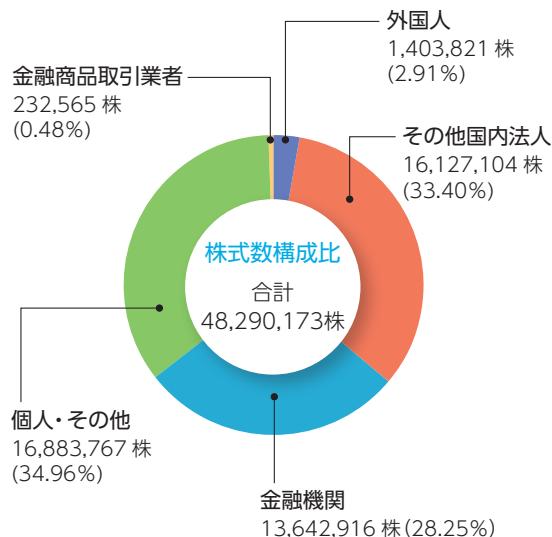
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,185名

## 大株主

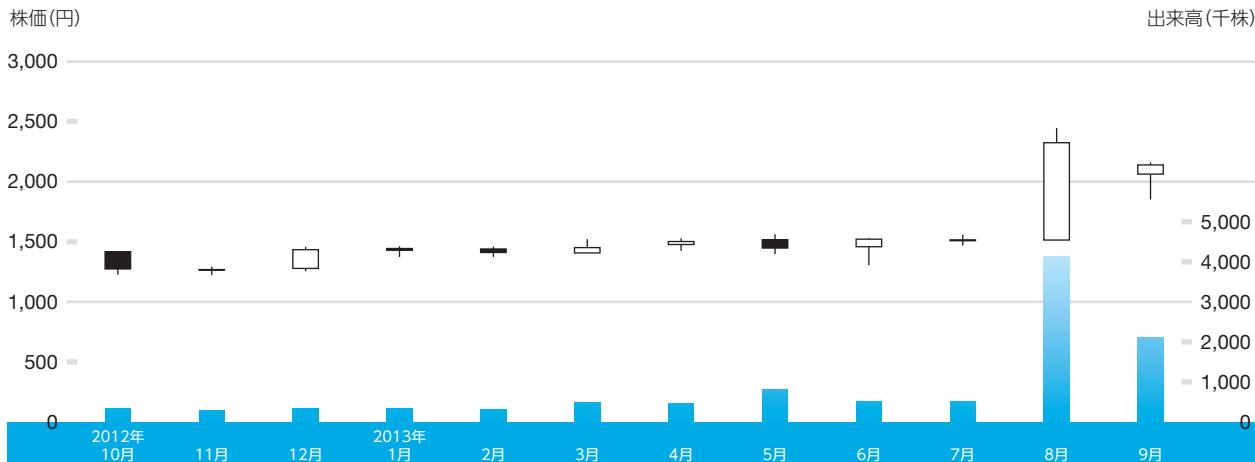
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,310,770	10.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,763,000	4.3
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,504,357	3.6
伊部幸頭	1,447,425	3.5
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.1
株式会社みずほ銀行	1,278,230	3.1
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	858,691	2.1

(注) 出資比率については、自己株式(6,955,475株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先  (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別  
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別  
措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際  
は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配  
当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主  
様は大切に保管ください。

## 最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを  
開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュース  
まで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>



## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬  
ZERIA